

# 平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年8月4日

上場会社名 スガイ化学工業株式会社

(コード番号：4120 大証第2部)

(URL <http://www.sugai-chem.co.jp>)

代表者 代表者役職・氏名 代表取締役社長 永岡 雅次

(TEL：(073) 422-1172)

問合せ先 責任者役職・氏名 管理本部経理部長 武田 晴夫

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有  
(内容) 法人税等の計上基準については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しています。
- ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更有無：無
- ③ 持分法の適用範囲の異動の有無：無
- ④ 公認会計士又は監査法人による関与の状況：無

## 2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

### (1) 経営成績の進捗状況

端数処理の方法：百万円未満切捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年3月期 第1四半期	1,412	1.2	64	6.9	50	19.9	46	16.9
平成18年3月期 第1四半期	1,395	△18.1	59	—	42	—	39	—
(参考) 平成18年3月期	7,717		449		356		34	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成19年3月期 第1四半期	3	40	—	
平成18年3月期 第1四半期	2	91	—	
(参考) 平成18年3月期	2	54	—	

(注) 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

### [経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格高騰による影響があるものの、企業収益は改善し、設備投資も増加するなど、国内需要に支えられ回復基調で推移しました。また、海外景気も中国では引き続き拡大し、米国・欧州でも緩やかに回復しています。

このような状況の中で当社の営業は、農薬中間物の売上が輸出向けで大きく増加しましたが、医薬中間物の減少及び和歌山工場休止に伴い機能性中間物の一部が生産中止となった影響もあり、売上高は前年同期に比べ17百万円(1.2%)増加の1,412百万円となりました。

国内売上高は、医薬中間物は増加しましたが、農薬中間物及び機能性中間物の減少が大きく前年同期に比べ120百万円(17.9%)減少の552百万円となりました。一方、輸出売上高は、医薬中間物及び機能性中間物は減少しましたが、農薬中間物が大きく増加し前年同期に比べ137百万円(19.1%)増加の860百万円となりました。

また、利益につきましては前期に引続き原材料費の高騰の影響はありましたが、製造原価低減及び生産性の向上に努めたことと、3工場から2工場体制に伴う諸経費等固定費の低減もあり、経常利益50百万円(前年同期は42百万円)、当四半期純利益46百万円(前年同期は39百万円)となりました。

## (2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年3月期 第1四半期	9,755	4,545	46.6	331 47
平成18年3月期 第1四半期	10,647	4,478	42.1	326 55
(参考) 平成18年3月期	11,236	4,814	42.8	351 08

## 【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年3月期 第1四半期	582	△ 108	△ 1,081	865
平成18年3月期 第1四半期	—	—	—	—
(参考) 平成18年3月期	1,445	△ 444	△ 821	1,468

(注) キャッシュ・フローの状況については、当第1四半期より開示しているため、前年第1四半期実績は記載しておりません。

## [財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の総資産は9,755百万円となり、前期末に比べ1,481百万円減少しました。流動資産では、受取手形及び売掛金で739百万円及び現金及び預金で602百万円減少しました。また、たな卸資産で261百万円の増加等があり、前期末に比べ1,079百万円減少して4,920百万円となりました。また、固定資産は有形固定資産が39百万円増加しましたが、投資その他の資産で主に投資有価証券が435百万円減少したため、前期末に比べ401百万円減少の4,835百万円となりました。

負債につきましては5,209百万円となり、前期末に比べ1,212百万円減少しました。これは主に借入金で1,081百万円減少したことと支払手形及び買掛金が48百万円減少したこと等によるためです。また、純資産は前期末に比べ268百万円減少の4,545百万円となり、自己資本比率は46.6%(前期末42.8%)となりました。

なお、当第1四半期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準第5号)を適用し、「株主資本」を「純資産」、「株主資本比率」を「自己資本比率」、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」にそれぞれ変更しております。

平成18年3月期第1四半期及び平成18年3月期の純資産、自己資本比率及び1株当たり純資産につきましては、それぞれ新会計基準適用前の株主資本、株主資本比率及び1株当たり株主資本の数値を記載しております。

## ○ 添付資料

- (要約) 四半期貸借対照表
- (要約) 四半期損益計算書
- (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

[参考] 平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

前回公表(平成18年5月26日)の中間期及び通期の業績予想に修正はありません。

(参考)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	3,310	240	220
通期	7,800	375	300

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

(添付資料)

## 1 (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) (平成18年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
( 資 産 の 部 )					
I 流 動 資 産					
現金及び預金	865	1,592	△ 726	△ 45.6	1,468
受取手形及び売掛金	1,294	1,221	73	6.0	2,034
たな卸資産	2,711	2,877	△ 166	△ 5.8	2,449
その他の	48	40	7	19.0	46
流動資産合計	4,920	5,731	△ 811	△ 14.2	5,999
II 固 定 資 産					
有形固定資産	3,611	3,781	△ 169	△ 4.5	3,571
無形固定資産	5	5	△ 0	△ 0.5	5
投資その他の資産					
投資有価証券	1,124	1,040	83	8.1	1,560
その他の	93	87	5	6.5	99
投資その他の資産合計	1,218	1,128	89	7.9	1,659
固定資産合計	4,835	4,915	△ 80	△ 1.6	5,237
資 産 合 計	9,755	10,647	△ 891	△ 8.4	11,236
( 負 債 の 部 )					
I 流 動 負 債					
支払手形及び買掛金	993	703	290	41.3	1,042
短期借入金	1,341	2,422	△ 1,080	△ 44.6	2,130
1年以内返済予定の 長期借入金	998	1,162	△ 164	△ 14.1	1,121
その他の	609	469	139	29.8	576
流動負債合計	3,942	4,757	△ 814	△ 17.1	4,871
II 固 定 負 債					
長期借入金	986	1,233	△ 246	△ 20.0	1,154
その他の	280	178	101	56.9	395
固定負債合計	1,267	1,412	△ 145	△ 10.3	1,550
負 債 合 計	5,209	6,169	△ 959	△ 15.6	6,422
( 資 本 の 部 )					
I 資 本 金	-	2,510	△ 2,510	-	2,510
II 資 本 剰 余 金	-	2,016	△ 2,016	-	2,016
III 利 益 剰 余 金	-	△ 50	50	-	△ 55
IV その他有価証券評価差額金	-	4	△ 4	-	346
V 自 己 株 式	-	△ 2	2	-	△ 2
資 本 合 計	-	4,478	△ 4,478	-	4,814
負 債 及 び 資 本 合 計	-	10,647	△ 10,647	△ 100.0	11,236
( 純 資 産 の 部 )					
I 株 主 資 本					
資 本 金	2,510	-	2,510	-	-
資 本 剰 余 金	2,016	-	2,016	-	-
利 益 剰 余 金	△ 9	-	△ 9	-	-
自 己 株 式	△ 2	-	△ 2	-	-
株 主 資 本 合 計	4,515	-	4,515	-	-
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等					
その他有価証券評価差額金	30	-	30	-	-
評価・換算差額等合計	30	-	30	-	-
純 資 産 合 計	4,545	-	4,545	-	-
負 債 及 び 純 資 産 合 計	9,755	-	9,755	-	-

## 2 (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) (平成18年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売 上 高	1,412	1,395	17	1.2	7,717
II 売 上 原 価	1,134	1,145	△ 10	△ 0.9	6,491
売 上 総 利 益	278	250	27	11.2	1,225
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	214	190	23	12.5	776
営 業 利 益	64	59	4	6.9	449
IV 営 業 外 収 益	14	16	△ 1	△ 8.8	45
V 営 業 外 費 用	28	33	△ 5	△ 16.8	138
経 常 利 益	50	42	8	19.9	356
VI 特 別 利 益	2	2	△ 0	△ 9.7	12
VII 特 別 損 失	4	3	0	25.4	328
税引前四半期(当期)純利益	48	40	7	17.6	40
税 金 費 用	1	1	0	43.9	5
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	46	39	6	16.9	34

### 3 (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)	(参考) (平成18年3月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税引前当期純利益	48	-	40
2. 減価償却費	100	-	430
3. 減損損失	-	-	288
4. 賞与引当金の増加額	40	-	△5
5. 退職給付引当金の増減額	22	-	7
6. 為替差益	△3	-	△9
7. 投資有価証券売却益	-	-	△12
8. 有形固定資産除却損	4	-	20
9. 売上債権の減少額	739	-	17
10. たな卸資産の増減額	△261	-	459
11. 仕入債務の減少額	△48	-	197
12. その他の他	△43	-	90
小計	599	-	1,524
13. 利息及び配当金の受取額	11	-	13
14. 利息の支払額	△20	-	△99
15. その他の他	△8	-	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	582	-	1,445
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資有価証券の売却による収入	-	-	20
2. 有形固定資産の取得による支出	△113	-	△454
3. その他の他	5	-	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108	-	△444
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の純減少額	△789	-	△401
2. 長期借入による収入	-	-	783
3. 長期借入金の返済による支出	△292	-	△1,202
4. その他の他	△0	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,081	-	△821
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	3	-	9
V 現金及び現金同等物の増減額	△602	-	190
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,468	-	1,278
VII 現金及び現金同等物の期末残高	865	-	1,468